



夏休み図書館大改造！ 坂田小学校の図書館が 使いやすくなりました！

坂田小学校の職員や読書活動支援ボ
の改造を指導した向井純子さん。

今回の、講師となるのは、学校図書館
活動推進委員で京都市内65校の図書館
の改造を指導した向井純子さん。

8月20日、坂田小学校では、夏休み
の1日を利用して、学校図書館の大改造
を行いました。これは、県教育委員会
と県公共図書館協議会が、学校図書館
を活性化するため行っている「地域連
携による学校図書館活性化ワークショ
ップ事業」に坂田小学校が申し込み、
実現したものです。

坂田小学校では、かつて児童の急増
から教室が不足し、学校図書館を教室
として使用していたことがありました。
現在の図書館は、教室として使われて
いた部屋を再度図書館として使用して
おり、黒板や掲示板が残っていたり、
低い本棚を使用していたため本棚が増
え読書スペースが十分確保できないな
ど多くの課題がありました。

今回の、講師となるのは、学校図書館
活動推進委員で京都市内65校の図書館
の改造を指導した向井純子さん。



図書館大改造！

スケジュール

- 9:00 本棚から本を出し、
分類番号ごとに仕分け
- 10:30 本棚をふく
- 11:00 本棚等を移動
- 13:30 分類表示に合わせて本を入れる
- 16:00 作業終了

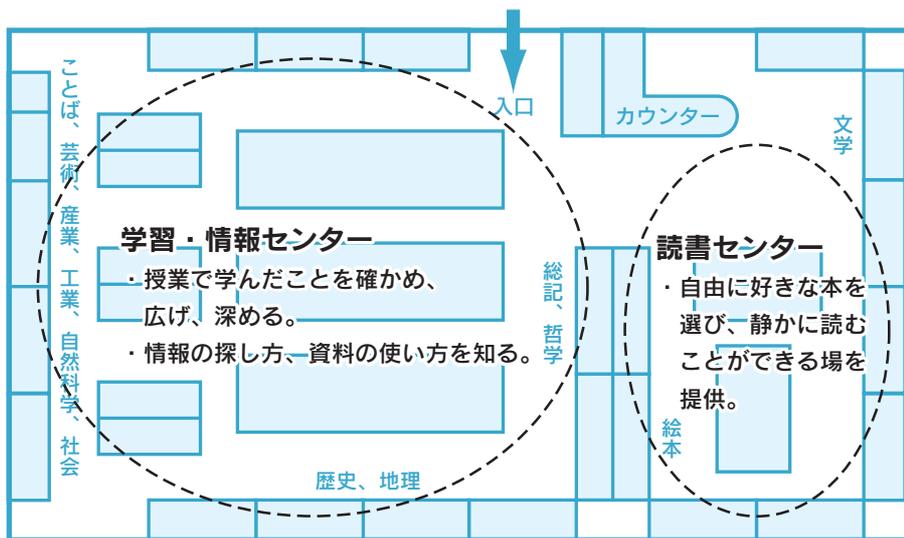




大きな分類表示で、本が探しやすく、返却しやすくなりました。



学習スペースが広がり、調べ学習がしやすくなりました。0~8類の本が周りに配置されています。



「日本の図書館の本は、日本十進分類法により、2は歴史・地理、9は文学というように分類されています。これが本の住所になっています。これが本のラベルにも表示されています。これを知り、小学校で図書館の使い方を覚えれば、中学校、高校の図書館も、公共図書館もスムーズに使えるようになるんです」と向井さんは小学校での図書館活用のメリットを話します。



図書主任、司書教諭
本田 道子先生

書架を移動し、机を増やしたことで、調べ学習がしやすくなりました。図書分類の表示も大きくなったので、子どもたちが自分で目的の本を探しやすくなりました。総合学習や国語、社会などいろんな授業にどんどん使ってもらいたいですね。落ち着いて読書しやすくなったので今まで以上に図書館を利用してもらえるとうれしいです。



親子で参加された
濱谷 簡くん 晃子さん

「読書活動支援ボランティアをしているので、図書館をきれいにしてお手伝いをしたいと思い参加しました。本の奥深いことも分かったし、子どもたちとこんな風と一緒に作業することはなかなかないので、とても楽しかったです！」と晃子さん。「前の図書館はごちゃごちゃしていて使いにくかったけど、とても使いやすくなりました。自分たちできれいにできたのでうれしかったです。歴史が好きなのでこれからもたくさん本を借りたいと思います」と簡くん。